

建築物名称	株式会社日本精機研究所 第三工場 新築工事
受付日	令和5年2月22日
建物所在地	富士市大淵字高山338-38・338-49・334-1
構造規模等	鉄骨造／地上2階／延床面2, 031. 76平方メートル／新築
建物用途区分	工場
建築主	株式会社日本精機研究所 代表取締役 山口 久一
工事完了予定日	令和6年2月29日

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(株)日本精機研究所 第三工場 新	階数	地上2F	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	静岡県富士市	構造	S造	
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	19 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2024年2月 0.0	評価の実施日	2023年2月20日	
敷地面積	15,221 m ²	作成者	(株)アルファ設計	
建築面積	1,752 m ²	確認日		
延床面積	2,032 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果
BEE = 0.9 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 	このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.5		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.4 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.4		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.3 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.4 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地内既存建物との調和や、適切な緑化計画を行うことで、周辺景観へ配慮した。 敷地内環境の向上と共に、敷地外環境への対応の為、駐車場及び乗り入れ口、敷地内車の流れに配慮した計画とした。		
Q1 室内環境 マルチユニットにより空間別に冷房・暖房の選択を自由とし、省エネ効果を図った。	Q2 サービス性能 壁長さ比率0.2とし、空間の形状自由さを確保出来るようにした。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺景観へ配慮し、敷地内既存建物との調和に心がけた。
LR1 エネルギー BEIm0.54 LEDの採用等省エネに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースの確保、乗り入れ口を広く確保した。 光害対策チェックリストを満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

1. 建物概要

建物名称	(株)日本精機研究所 第三工場 新築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	----------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5	ふつつ 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9	/5	がんばろう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.3	/5	がんばろう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.2	/5	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4 点以上	
		ふつつ 3 点以上	
		がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目				
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点		3.2		
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)	Q-1	2	2.1	2.1.2 ① 外皮性能	
		Q-1	3	3.1	3.1.3 ② 昼光利用設備	
				3.2	3.2.1 ③ 昼光制御	
		Q-2	2	2.2	2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数	
				2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔		
				2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
				2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔		
				2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔		
				2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔		
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1		⑤ 生物環境の保全と創出	
			3	3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BELm0.54	LR-1	1		⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
			2		⑧ 自然エネルギー利用	
			3		⑨ 設備システムの高効率化	
			4	4.1	⑩ モニタリング	
				4.2	⑩ 運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)	LR-2	1	1.1	⑪ 節水	
				1.2	1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無	
					1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
			2	2.1	⑫ 材料使用量の削減	
				2.2	⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
				2.3	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
				2.4	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
				2.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
				2.6	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
			3	3.1	⑬ 有害物質を含まない材料の使用	
				3.2	3.2.1 ⑬ 消火剤	
					3.2.2 ⑬ 断熱材	
					3.2.3 ⑬ 冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフサイクルCO2排出率79%	LR-3	1		⑭ 地球温暖化への配慮	
			2	2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善	
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点		2.9		
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1 ⑯ 耐震性	
					2.1.2 ⑯ 免震・制振性能	
				2.4	2.4.1 ⑰ 空調・換気設備	
					2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備	
					2.4.3 ⑰ 電気設備	
				2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法		
				2.4.5 ⑰ 通信・情報設備		
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点		2.3		
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ㉑壁長さ比率0.2とし、空間の形状自由さを持たせた	Q-2	1	1.1	1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画	
			3	3.1	3.1.1 ⑲ 階高のゆとり	
					3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ	
		■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)	Q-3	3	3.1	㉒ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点		2.2		
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1		⑤ 生物環境の保全と創出	
			2		㉓ まちなみ・景観への配慮	
			3	3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上	
		■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-2	2	2.5	⑫ 持続可能な森林から産出された木材
			LR-3	2	2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善